

第3回精華町町民健康づくり推進協議会 議事摘録

■日時

令和5年2月7日（火）14時から15時30分まで

■場所

精華町役場 庁舎 6階 審議会室

■出席委員

- ・東 あかね 会長
- ・長谷川 悟 副会長
- ・三沢 あき子 委員代理 荒堀 由紀 氏
- ・岸田 秀樹 委員
- ・内田 裕也 委員
- ・鈴木 圭吾 委員
- ・田中 紀代子 委員
- ・宮本 潤子 委員
- ・久古 朋子 委員
- ・桃井 秀幸 委員
- ・大田 梨沙 委員
- ・堀口 喜代美 委員

■欠席委員

- ・岡田 敦子 委員
- ・北 安代 委員
- ・松浦 寛二 委員

■傍聴者

なし

■内容

1 開会

2 挨拶 健康福祉環境部長

岩前健康福祉環境部長

- 第2回「健康づくり推進協議会」後に行ったパブリックコメントの結果報告と併

せて計画（案）につきまして委員の皆様からご意見ご提案をいただきたい。

事務局

- 「精華町町民健康づくり推進協議会公開要領」第2条に基づき非開示とする場合を除いて原則公開となる。
- 会議要旨については、個人情報等公開すべきでないと思われる内容を除き、町のホームページ上で公表する。
- 会議録要旨については、会議終了後、事務局において作成し、修正箇所等を委員の皆様を確認していただいた後で、公開する。

3 議事

(1) パブリックコメントの結果報告

事務局

- 資料3について概要説明

東会長

- 食育推進基本方針から食育推進計画に変更になったことは良いことだと思う。

(2) 第3期健康増進計画及び精華町食育推進計画の概要版について

事務局

- 資料5及び資料6について概要説明

東会長

●健康増進計画の概要版の表紙のイラストについて、男女共同参画社会の視点からいちごパパの特技はごみの分別だけではなく料理も加えたほうが良いと思います。

食品ロスに取組のみではなく、運動を頑張っている様子を描くのもいいと思います。

●「栄養バランスやカロリーに配慮している者の割合」について、カロリーはエネルギーの単位であるため、「栄養バランスやエネルギーに配慮した食事を心がけましょう」という表記の方が適していると思います。

岸田委員

●令和14年の評価指標において年代によって目標値が変わっている理由を教えてください。

事務局

●目標値の設定については、年代による現状の数値と国や京都府の目標値を参考にバランスを考慮して設定した。

鈴木委員

●食育推進計画の「朝食または夕食を家族と一緒に食べる『共食』の回数」について、サラリーマン家庭において共食は難しく11回という数字は現実的ではないように思う。

事務局

●共食の増加と記載しているが、括弧書きで食事を1人で食べる子どもの割合を減らすことについて記載しており、国の目標値を参照しています。

東会長

●食育推進計画については、最終ページに評価指標として一覧が掲載されているが、健康増進計画については評価指標の記載がなく「せいか365プロジェクト」の案内になっている。評価指標を示した方が良いのではないか。

事務局

●健康増進計画は評価指標項目が多数となるため、概要版には課題ごとに関連する部分を抜き出しまとめています。

東会長

●これからの新しい時代の10年の計画となるため、本日皆様から頂いた意見を踏まえ、修正等については協議会を経ずに事務局に一任すると事とします。

(3) 新規事業の紹介

事務局

●資料7、8及び資料9について概要説明

東会長

●精華町の1年間の出生数はどれぐらいですか。

事務局

●昨年については211件で、15年前程は370件ほどありましたので、15年で150件程減少している状況です。

東会長

●政府において「異次元の少子化対策」ということを言われているが、出産・子育て応援給付金等支援事業はその発表の前から取組んでいることですか。それとも追加支援のことでしょうか。

事務局

●国が打ち出している「異次元の少子化対策」は、本事業を含め、児童手当の所得制限の撤廃や、学童保育の環境整備が主で、これらの改善を図っていく方向になっていくと考えられます。

(4) 意見交換

荒堀氏

●保健所では、この数年コロナ対応に追われていたのですが、今年の3月に糖尿病重症化予防の協議会を開催し、今後は健康づくりの担当者会議を開催する予定で、通常業務を徐々に再開しています。

●山城南保健所管内の地域の健康状態について数値化を行っていますが、精華町に

については数値が良いため積極的に健康に対する取組みが行われていると思います。

具体的には、特定健診、がん検診、死亡状況及び介護状況について、京都府内の平均と比べて悪いデータを上回る指標が少ないというのが印象的です。

田中委員

●食生活改善推進員協議会「あすなる会」では「私たちの健康は私たちの手で」を目標にして、各地域の料理教室に出張し勉強していただいているのが現状です。

宮本委員

●せいか365プロジェクトの「食育劇団もぐもぐ」はコロナ禍で精華町内保育所や幼稚園等に出向いて食育劇を行う事ができないため、YouTubeの配信を行っています。

●食生活改善推進員に所属し、かしのき苑やむくのきセンターにおいて調理室を利用していますが、交通の便が悪いため60代や70代の参加者が減っており、交通の便を良くして欲しいと感じています。

事務局

●町全体の交通政策に関わる問題であり、現在町内を運行しているくるりんバスにおいてもデマンドバスの実証実験の段階であり、町全体としての交通体系の組み立てに係る取組みを進めているところです。

ご意見については、内部的に伝えていく考えであります。

久古委員

●評価指標の数値について、なぜその数値になっているのか、理由が分かれば対策を立てやすいのではないかと思います。

●せいか365プロジェクトの「Let's DIY」に所属し、活動しています。10月に初めて地域の方たちを案内してワークショップを開催し、多くの子どもたちに参加いただけたことにより、これまでメンバーだけの活動だったのがより活気づいた。

堀口委員

●せいか365プロジェクトの「いちご☆体操プロジェクト」に所属しています。コロナ禍で保育所や幼稚園に出向いて活動することができなくなったのですが、新型コロナウイルス感染症が今後5類に分類されるとのことですが、精華町として保育所などに出向いて活動することが可能になるのかどうか見解を教えてください。

事務局

●町としても「食育劇団もぐもぐ」、「いちご☆体操プロジェクト」について保育所や幼稚園に出向いて活動できることを望んでいますが、プロジェクトの活動はあくまで住民参画型の活動であり、住民が主体となり活動するものと考えています。行政が主導するような形で開催を決定するものではなく、開催の可否についてはプロジェクト間やせいか365ネットワーク会議の中でご相談いただけたらと思いま

す。

大田委員

- 精華町でスマートウォッチを使つての素敵な取組を実施していると知りました。
- 精華町の住民でなくても在勤の方はプロジェクトに参加できることが素晴らしいなと思います。

桃井委員

- 商工会のコロナ禍における取組としては、コロナが蔓延しないようウェブ会議を事業所に広げていこうと考えています。
- いろいろな事業、いろいろな団体が取組んでいることに対して、商工会として後方支援の立場で積極的に協力させていただければと考えています。
- 「精華町産前産後支援ヘルパー派遣事業」は素晴らしい事業ですが、利用件数が少ない現状ですが、開始されて間もないためでしょうか。

事務局

- 令和5年1月からスタートしたため、現時点で利用者1名となっています。また、あくまで対象者は、家族のサポートが得られない方というのが大前提であり、対象者皆様一律にご利用できる事業でないため利用者が少ない状況です。

内田委員

- 虫歯、歯周病、歯を失うことだけではなく、口の中の筋肉の動き、飲み込むやしゃべるという機能的なこと、筋肉の動かし方などを知ってもらうため、後期高齢者の方に対し、オーラルフレイル対策として歯科検診を開始しました。
- 乳幼児期については正しい噛み方や歯の使い方をきちんと指導していくことが今後大切であると思います。

4. 閉会

長谷川副会長より挨拶。

事務局

- 委員の皆さま方、円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。
- 委員の皆さま方におかれましては、今年度の計画策定に当たり多大なご協力をいただき感謝しております。

本町の健康づくりは各種保険事業を充実させることだけではなく、住民協働で展開しているところから、皆様のご協力が必要不可欠という形になっております。引き続きよろしく願いいたします。